



# 2014年3月期 第1四半期 決算説明会



新型 Mazda3 (北米仕様車)

マツダ株式会社  
2013年7月31日

# 本日の説明内容

---

- ➡ 総括
- ➡ 2014年3月期 第1四半期実績
- ➡ まとめ





# 総括

# 総括

---

- ▶ SKYACTIV搭載車両の販売拡大等により、増収且つ全ての利益レベルで、大幅増益を達成
- ▶ 売上高は6,159億円、営業利益は365億円、当期純利益は55億円
- ▶ グローバル販売台数は、30万1千台
- ▶ CX-5及び新型Mazda6/アテンザの販売モメンタムは、グローバルに拡大
- ▶ 新型Mazda3/アクセラを、下期より、北米市場から順次主要市場へ導入
- ▶ 上期及び通期見通しは変更なし



# 2014年3月期 第1四半期実績

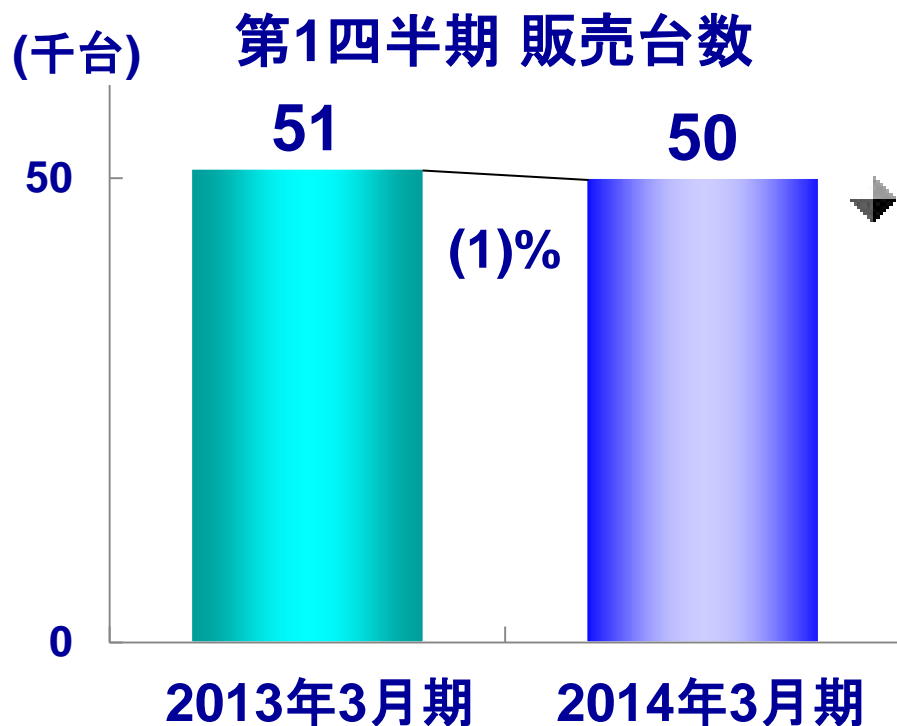
# 2014年3月期 財務指標

(億円)	第1四半期		増/(減)	
	2014年3月期	2013年3月期	金額	YOY(%)
売上高	6,159	5,066	1,093	22
営業利益	365	18	347	-
経常利益	84	(89)	173	-
税引前利益	82	(97)	179	-
当期純利益	55	(65)	120	-
売上高営業利益率	5.9 %	0.4 %	5.5 pts	
EPS(円/1株)	1.8	(2.2)	4.0	
為替レート				
US\$ / 円	99	80	19	
€ / 円	129	103	26	

# グローバル販売台数

(千台)	第1四半期		増/(減)	
	2014年 3月期	2013年 3月期	台数	YOY(%)
グローバル販売台数				
日本	50	51	(1)	(1)
北米	95	90	5	6
欧州	46	44	2	4
中国	37	46	(9)	(20)
その他市場	73	69	4	5
合計	<u>301</u>	<u>300</u>	<u>1</u>	<u>0</u>
<内訳>				
米国	67	62	5	8
オーストラリア	26	26	0	0
ASEAN	20	21	(1)	(5)

# 日本



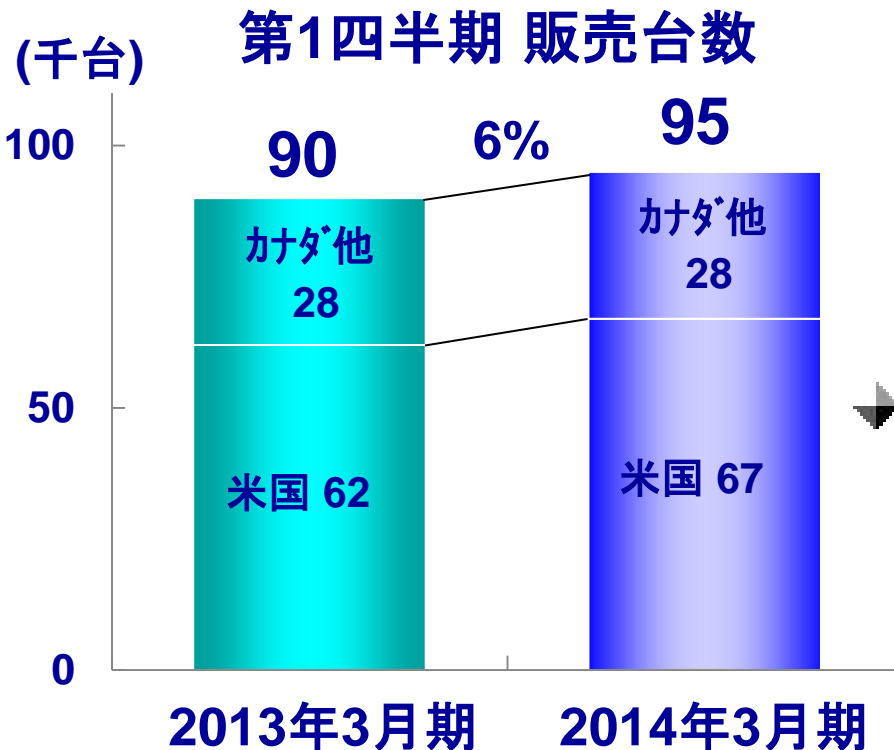
- ▶ エコカー補助金終了による反動減の中、販売台数は、前年並みの5万台
- ▶ CX-5、新型アテンザ、ミニバンなどSKYACTIV搭載車両の販売好調により、シェアは0.3ポイントアップの4.3%を獲得
- ▶ SKYACTIV-Dは高評価を維持。ディーゼル販売比率も導入当初と同様、高い水準で推移



# 北米



- ▶ 販売台数は、対前年6%増の9万5千台
- ▶ 米国: 対前年8%増の6万7千台
  - フリート抑制などブランド価値向上を継続・強化
  - CX-5は2.5Lモデル導入により販売は対前年68%増
  - 新型Mazda6は本格ローンチを迎え販売が拡大
- ▶ メキシコ: 対前年35%増の8千台
  - CX-5が販売を牽引、過去最高の販売台数とシェアを達成

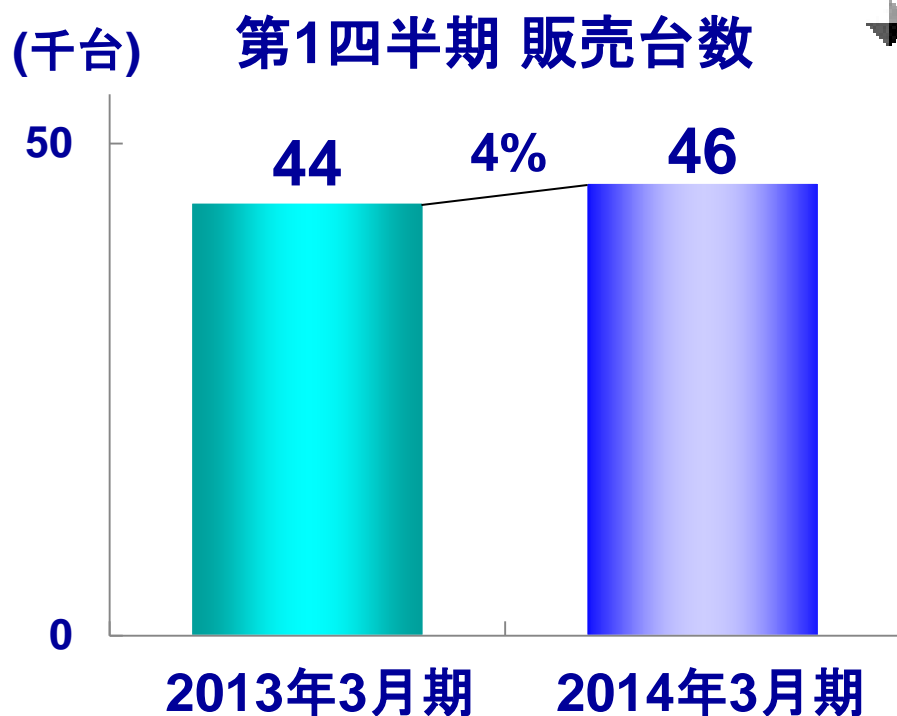


# 欧州



新型 Mazda6 ワゴン (欧州仕様)

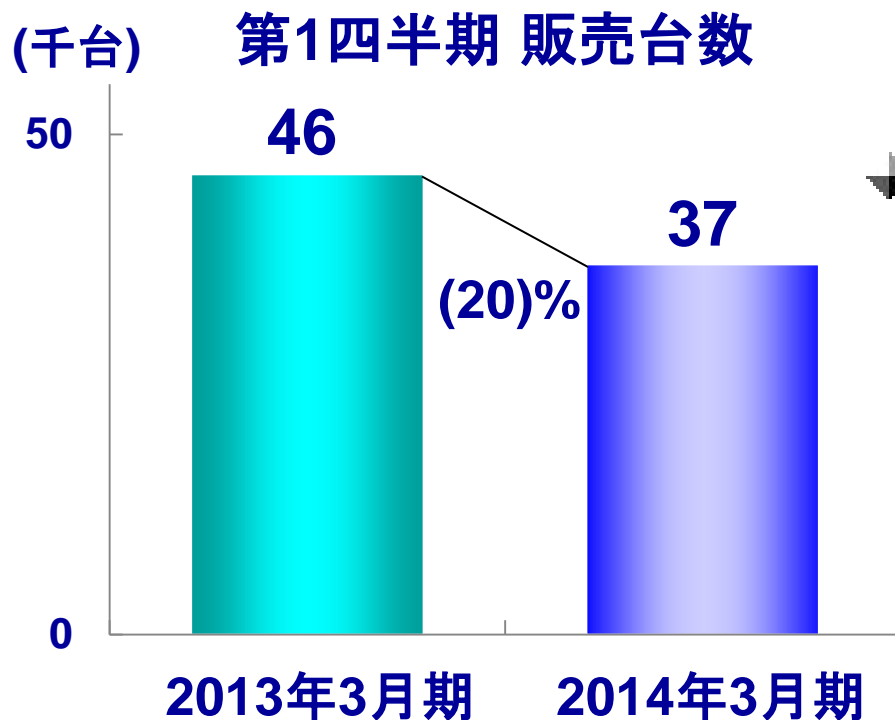
- ▶ 販売台数は、対前年4%増の4万6千台
- ▶ 厳しい市場環境が続く中、CX-5、新型Mazda6が販売を牽引
- ▶ 特に主要国であるドイツ、英国での販売が好調
  - ドイツ: 対前年16%増の1万1千台
  - 英国: 対前年23%増の7千台



# 中国



- ▶ 販売台数は、3万7千台
- ▶ 6月末より、新型ATENZA輸入車の販売開始
- ▶ 7月より、南京工場でCX-5の生産開始
- ▶ 地域のモーターショーへの出展など、販売強化策を継続

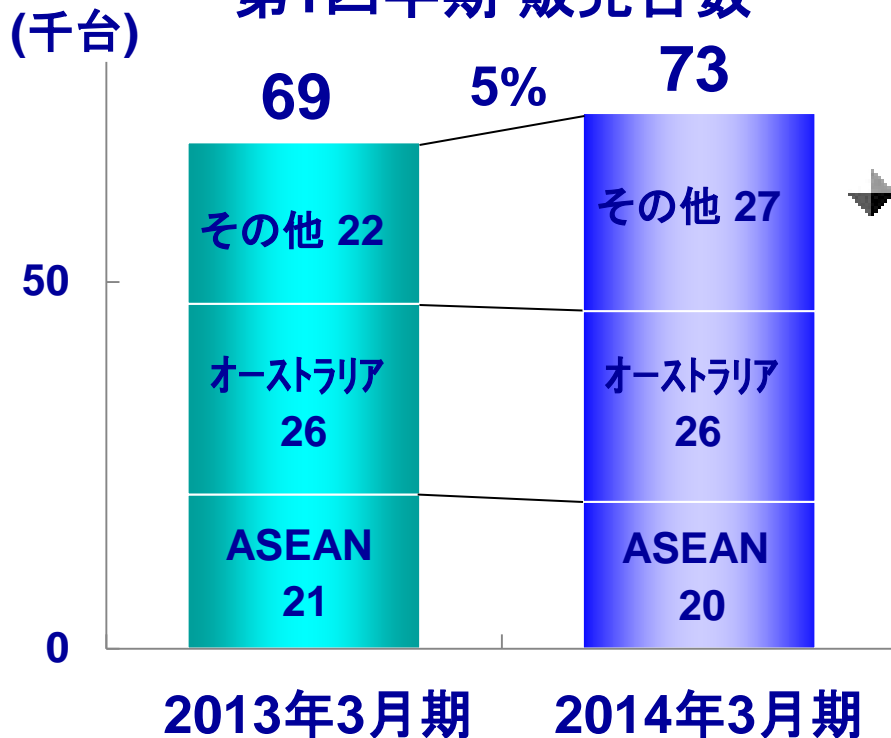


# その他市場



CX-9 (豪州仕様)

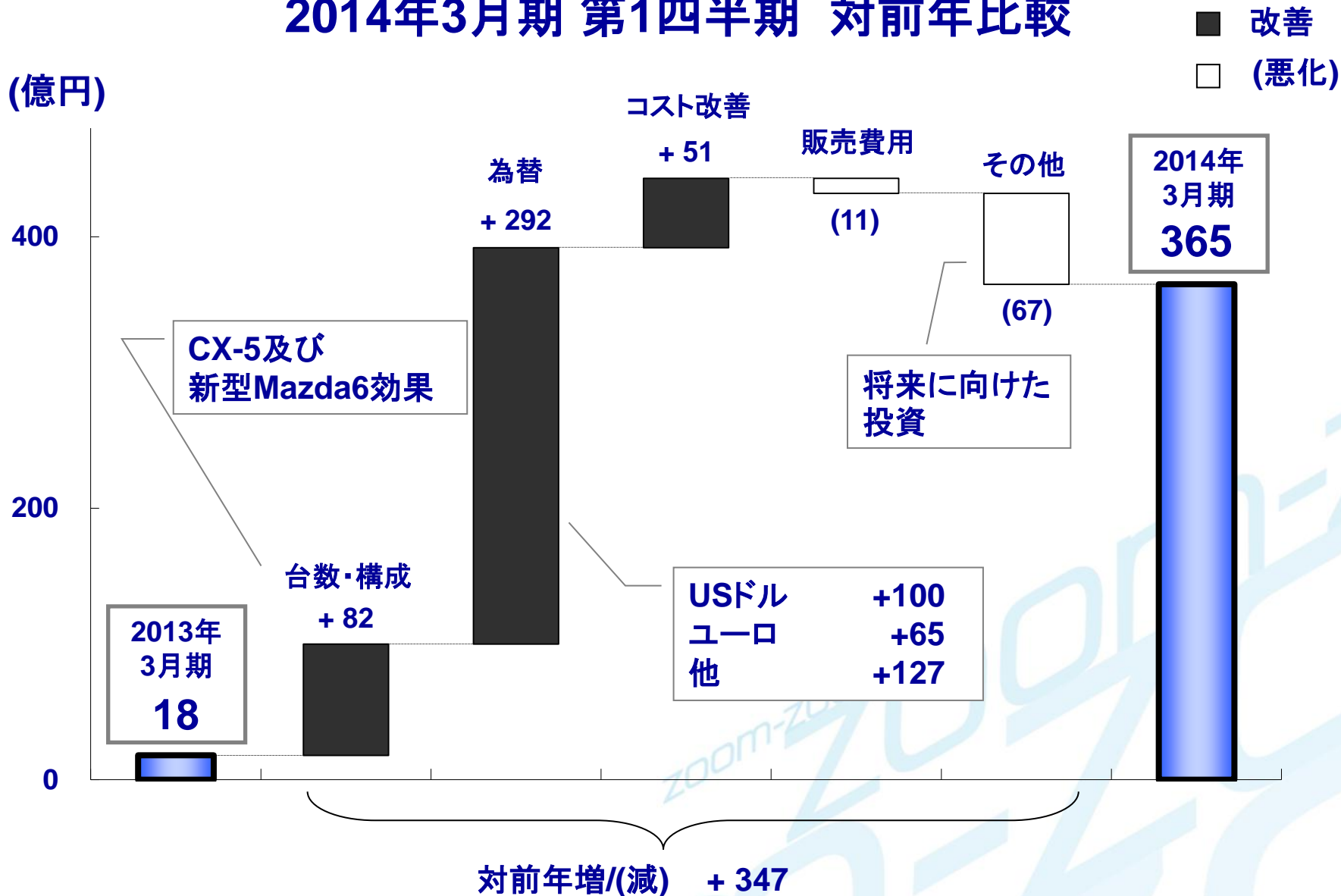
## 第1四半期 販売台数



- ▶ 販売台数は、対前年5%増の7万3千台
- ▶ オーストラリア: 2万6千台、シェア8.5%と好調を継続
  - 前期に引き続きCX-5はセグメント販売台数1位
  - メーカー別販売でも3位を維持
- ▶ ASEAN: タイの需要減の中、前年並みの販売台数
  - インドネシア、マレーシアでは過去最高の販売を達成
  - インドネシアでVX-1の販売を開始
  - マレーシアでCX-5の現地生産を開始

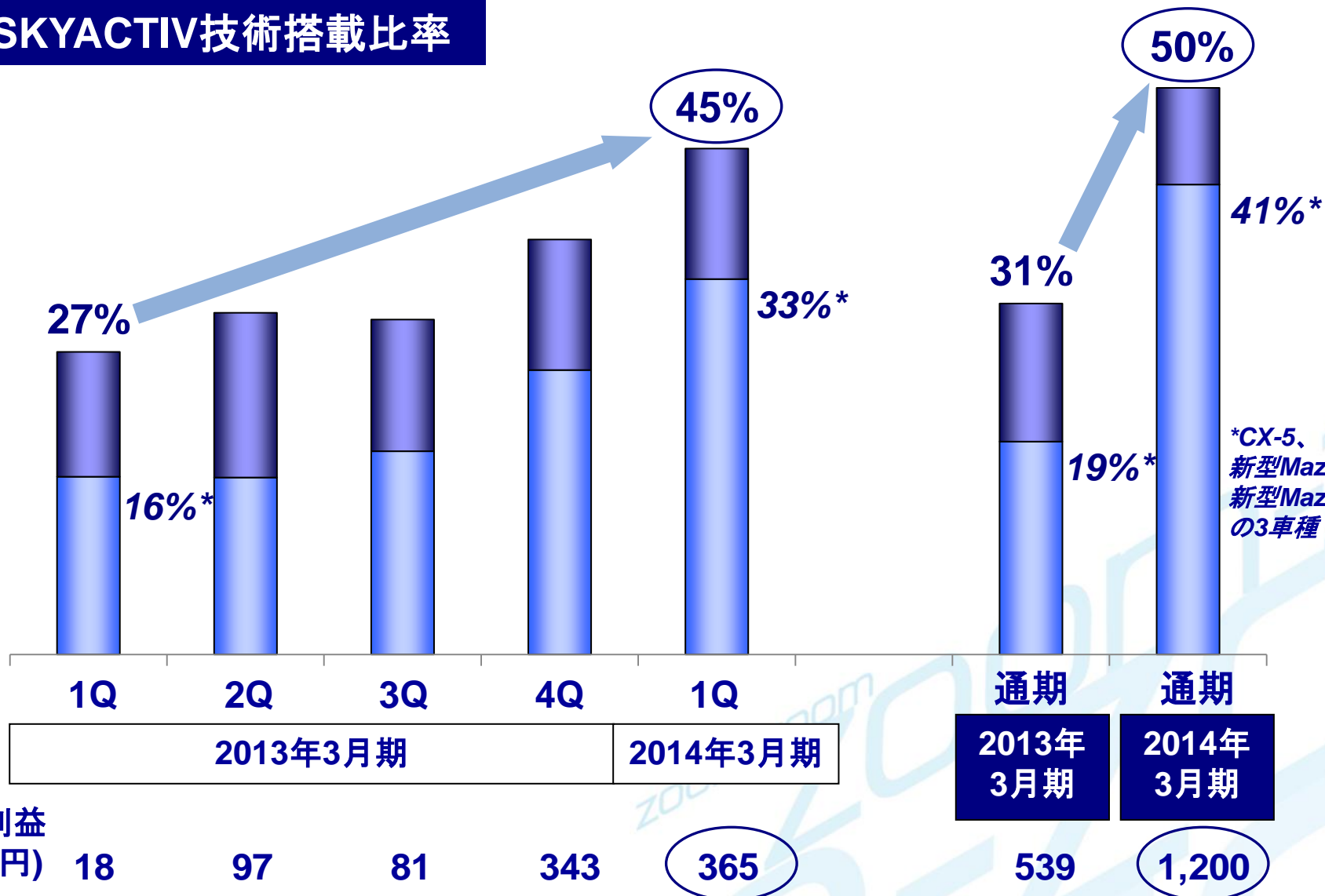
# 営業利益変動

## 2014年3月期 第1四半期 対前年比較



# SKYACTIV搭載車両の販売増による利益拡大

## SKYACTIV技術搭載比率



# 新型Mazda3/アクセラについて



新型 Mazda3 5ドアハッチバック (北米仕様車)



新型 Mazda3 セダン (北米仕様車)

- ▶ 新デザインテーマ「魂動(こどう)」を採用したSKYACTIV搭載車両第三弾
- ▶ 構造改革プランを牽引する、世界戦略車としてグローバルに展開
- ▶ 下期より、北米市場から順次主要市場へ導入
- ▶ ガソリンエンジン、ディーゼルエンジンに加え、日本ではハイブリッドシステムをセダンモデルに搭載
- ▶ 高い商品力により、更なるインセンティブ抑制・残価改善の実現
- ▶ 収益改善とブランド価値向上に貢献

## まとめ

---

- ▶ SKYACTIV搭載車両は、販売及び収益拡大に大きく貢献
- ▶ 売上高は6,159億円、営業利益は365億円、当期純利益は55億円と、増収且つ全ての利益レベルで大幅増益を達成
- ▶ 構造改革プランは順調に進捗
  - 新型Mazda3/アクセラを、下期より、北米市場から順次主要市場へ導入
  - SKYACTIV搭載車両の比率は50%へ大幅拡大
  - グローバル生産体制の再構築も順調に進捗
- ▶ 上期及び通期見通しは変更なし





**MAZDA**





添付

# キャッシュフロー及び純有利子負債

(億円)	2014年3月期 第1四半期	2013年3月期 通期	対前期末 改善/(悪化)
キャッシュフロー			
- 営業	(71)	490	-
- 投資	(244)	(403)	-
- フリーC/F	(315)	87	-
現金及び現金同等物	3,997	4,449	(452)
純有利子負債	3,046	2,741	(305)
純有利子負債 自己資本比率	59 / 49* %	55 / 45* %	(4) / (4)* pts
自己資本比率	27 / 28* %	25 / 27* %	2 / 1* pts

\* 劣後特約付ローンの資本性考慮後

# 連結出荷台数

(千台)	第1四半期		増/(減)	
	2014年 3月期	2013年 3月期	台数	YOY(%)
連結出荷台数				
日本	54	54	0	(1)
北米	91	89	2	2
欧州	39	32	7	24
中国	1	2	(1)	(42)
その他市場	70	70	0	1
合計	<u>255</u>	<u>247</u>	<u>8</u>	<u>4</u>

# 2014年3月期 財務指標

(億円)	2014年3月期			対前年 増/(減)	
	上期	下期	通期	金額	YOY(%)
売上高	11,200	13,600	24,800	2,747	12
営業利益	450	750	1,200	661	122
経常利益	210	760	970	639	193
税引前利益	170	710	880	489	125
当期純利益	100	600	700	357	104
売上高営業利益率	4.0 %	5.5 %	4.8 %	2.4 pts	
EPS(円/1株)	3.3	20.1	23.4	11.9	
為替レート					
US\$ / 円	90	90	90	7	
€ / 円	120	120	120	13	

# グローバル販売台数及び連結出荷台数

(千台)	2014年3月期			対前年 増/(減)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期
<b>グローバル販売台数</b>						
日本	106	114	220	(4)	8	4
北米	204	211	415	22	21	43
欧州	93	107	200	8	20	28
中国	82	118	200	(8)	33	25
その他市場	142	158	300	(4)	4	0
合計	<u>627</u>	<u>708</u>	<u>1,335</u>	<u>14</u>	<u>86</u>	<u>100</u>
<b>連結出荷台数</b>						
日本	109	119	228	(6)	8	2
北米	174	222	396	(1)	27	26
欧州	79	112	191	11	22	33
中国	7	7	14	5	5	10
その他市場	141	150	291	(1)	(3)	(4)
合計	<u>510</u>	<u>610</u>	<u>1,120</u>	<u>8</u>	<u>59</u>	<u>67</u>

# 主要データ



## 将来見通しに関する注意事項

---

このプレゼンテーション資料に記載されている、当社の見通し及び将来の戦略については、今後の世界経済情勢、業界の動向、為替変動のリスクなど様々な不確定要素が含まれております。従いまして、実際の当社業績は見通しと大きく異なる結果となる場合があることをあらかじめご了承ください。

投資に関する最終決定は、上記の点を踏まえ、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願いいたします。当プレゼンテーション資料に掲載された情報に基づいて投資された結果、万一何らかの損害を被られましても、当社および各情報の提供者は一切責任を負いかねますので、併せてご了承ください。